

# Umbrellaコネクタログのエラー"DN not found!" ; のトラブルシューティング

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、Umbrellaコネクタログのエラー「DN not found!」をトラブルシューティングする方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Umbrella DNSに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 問題

OpenDNSClientAudit.logに次のログエントリがあることがわかります。

```
7/10/2023 3:01:36 PM: DN not found! for IP: X.X.X.X, User: POD1234$
```

## 解決方法

これらのエントリは通常のもので、ADコネクタの問題を示すものではありません。

この動作は意図的なもので、問題やエラーを示すものではありませんが、Umbrellaログには記録されます。

コネクタサーバがすべての登録DCのイベントログを読み取ると、Umbrellaは実際のユーザからのログオンイベントを検索します。マシン名からのログオンは、有効なユーザではないため無視されます。正確を期すために、Umbrellaは、ユーザからIPへのマッピングを作成する前に新しいログオンイベントを読み取ると、ADに戻ってユーザが存在することを検証します。マシン名ログオンの場合、DNはユーザDNではありませんが、マシン名DNである可能性があります。

前述のログエントリの例と同様に、すべてのマシン名のログオンでは、名前の最後に末尾に「\$」を付けることができます。User: POD1234\$は有効なユーザ名ではないため、UmbrellaではそのユーザのユーザとIPのマッピングが作成されません。ログエントリは、有効なユーザDNが見つからなかったことを示します。そのため、新しいユーザとIPのマッピングを生成する代わりに、ログエントリは無視されます。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。